

第57回 木材加工技術賞を受賞しました

昭和木材株式会社 社長 高橋 秀樹
(一般社団法人北海道林産技術普及協会会長)



公益社団法人日本木材加工技術協会が昭和30年に創設した名誉ある「木材加工技術賞」を地方独立行政法人北海道立総合研究機構林産試験場の研究主任（河原崎政行氏）と昭和木材株式会社の高橋が受賞致しました。

この賞は木材業界にあって技術の向上に努力されている方々、新しい技術を開発された方々の中から優れた業績を選び、広く世に紹介するとともにこれを顕彰するという趣旨で創設された、木材の技術開発分野において非常に権威のある賞です。

受賞の内容は、「防火木材の品質管理技術の開発」というものです。この管理技術の開発により、全ての材料で準不燃性能があると証明され、国土交通省から防火木材として認定を受けることができました。

その結果「北海道産タモの防火木材」は2012年3月に完成したJR旭川駅舎の壁と天井におよそ9万枚（無処理材と合わせて14万枚）使用されました。今までに例の無い格調高い木材の駅舎が完成しました。

公共建築物の木材利用促進法が施行され、広く木材を使って行こうという気運が高まる中、準不燃材国産材等で14万枚という規模は非常にインパクトのある木材使用の実例となり、もはや「木材を使えない」という理由は無くなったといえます。また、これは産・学・官が連携したゆえ成せた業であると思います。

林産試験場と昭和木材（株）の共同研究として、試作を繰り返し、実験・改良し、認定を取得したこと、そして3年間という短い期間内でJR旭川駅舎の内装を見事に完成させたことに対し、改めて林産試験場の皆様と昭和木材（株）の職員の方々に敬意を表すると共に感謝申し上げたいと思います。

